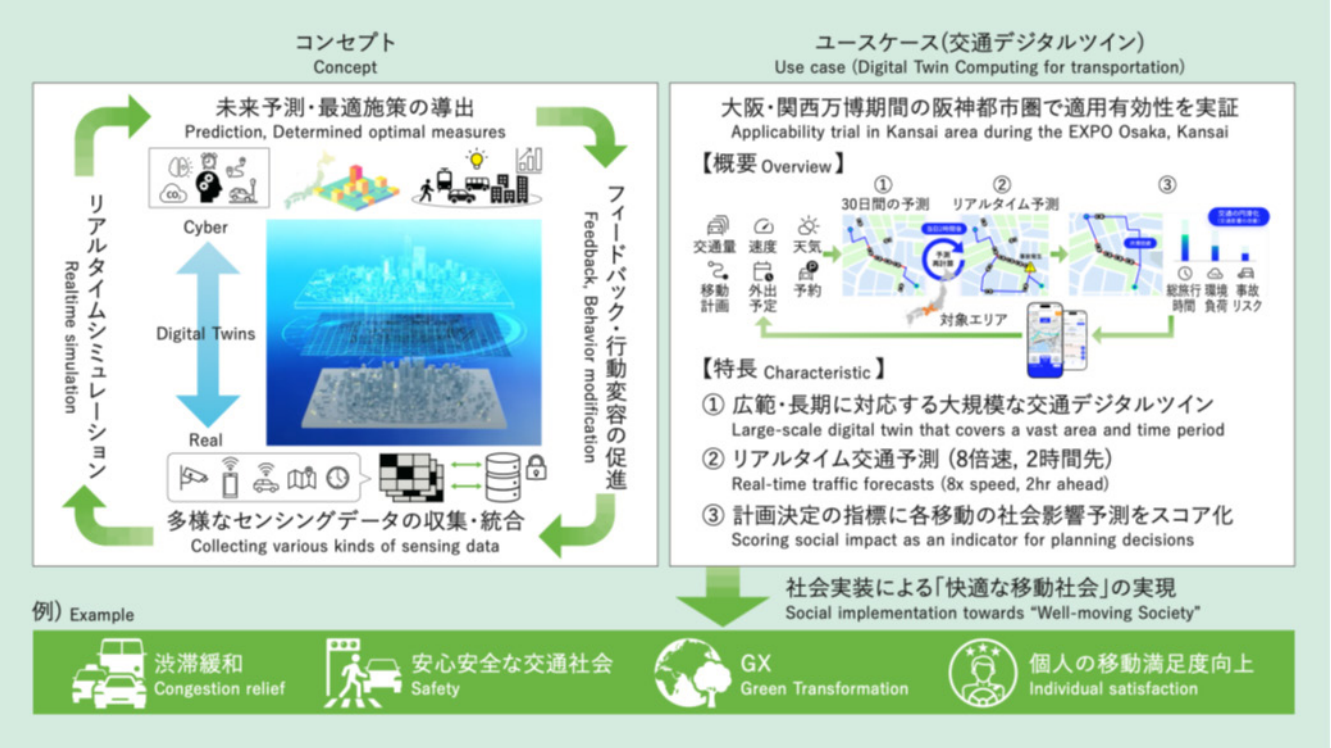
交通に関連するビッグデータをリアルタイムに分析し、効率的な交通流を実現します

移動・活動を最適化する4Dデジタル基盤®

背 景 – 技術課題

従来の交通流のシミュレーションでは計算量の多さからリアルタイムな分析は難しく、またその結果に基づく車流及び人流へ働きかける方法も限定的でした。



研 究 目 標 – 成果

観測点数を抑えて実効的なコストとスピードで精度を高めるシミュレーション技術と行動変容技術による渋滞解消などに向けた効果的な働きかけを実現します。

技 術 ポ イ ン ト

01 要素技術

- 超高速かつ一般道も適用可能な交通流シミュレーション技術
- シミュレーション情報を基に個人最適化する行動変容技術

02 市中技術差異点

必要最小限のリアルタイム広域データから非日常交通流や突発事象に対応する8倍速超の交通流シミュレーション

利用シーン 交通・運輸
スマートシティ

R&Dフェーズ ビジネス展開

【出展企業】
NTT株式会社、株式会社NTTデータ、株式会社NTTデータグループ
【問い合わせ先】
NTT株式会社 IOWNプロダクトデザインセンタ

【社外連携先】
阪神高速道路株式会社

【関連Link】
https://group.ntt/jp/newsrelease/2025/06/18/250618b.html